

子どもと教育をまもる山口県民会議ニュース

NO. 135 2023年6月20日

事務局 山口県高等学校教員組合

(TEL 083-922-0766 / FAX 083-922-5447 / e-mail koukyoso@mocha.ocn.ne.jp)

教育委員会キャラバン報告① 5/11 - 18

教育予算増・教員不足と多忙化解消 ジェンダーフリーの視点で人権保障を

「子どもと教育をまもる山口県民会議」は、5月11日（木）から25日（木）にかけて、県教育委員会・各市町教育委員会を訪問し懇談しました。今年の一つの教育委員会で50分懇談し、全6日間でのキャラバンを実施しました。県教委含め20教育委員会のうち12の市町で教育長に出席いただき、お互いに課題を共有することができました。今回は18日までの報告です。

通常は、ゆとりある教育の実現のために保護者負担軽減や教育予算の増額を要請しています。しかし、昨年度末に中学校2・3年生の学級人数を現行の35人から38人に増やすと決め、現場の多忙化が深刻となっているため、このことに特化した要請も別に用意して各市町教育委員会を回りました。

5/11

【県教育委員会】【阿武】【萩】【長門】



県教育委員会での懇談

今年度のスタートは県教委からでした。まず、38人学級化についてどのように考えているのか質しました。県教委は、教員確保に向けて今年度限りで元に戻したいと述べましたが、単にクラスの人数を元に戻しても、教員が足りずにスタートするようなことがあっては全く意味がありません。38人学級化に伴う弊害を伝えるとともに、安易に人数を増やしたことへの怒りの声が上がりました。

臨採教員が増えて大変な状況も伝えられました。教員の働き方も現在問題になっています。『子どもの数が減るから臨時』ではダメだと訴え、県には教員を確保する予算をしっかりとるよう要請しました。

阿武・萩・長門では教育長が懇談に出席いただきました。山陰だからなかなか代替が見つからない実態も伝えられましたが、それぞれで独自に支援員等を配置するなどの対応をしています。この地域では、萩と長門で38人学級の影響を受けたようですが、特に、ひと学年36人の場合、昨年度は18人2クラスでしたが、この施策によって1クラスになっていて、実際長門市ではそのような学校があったようです。

給食費の無償化を進める地域も増えてきています。また、地産地消で地域の食材を利用しそこに補助するなど、保護者負担軽減に向けて各自自治体で工夫している様子が分かりました。



阿武町は教育長室で要請書手交

5/15

【宇部】

5/16

【岩国】【和木】【柳井】【周防大島】



岩国市でも教育長が出席し
要請書を手交しました

宇部、岩国、柳井地区でも教育長が出席されました。

宇部はジェンダー平等の視点に立った研修や取り組みを適切に行っている地域であり、他地区よりも進んでいる印象がありました。また、今年度から小学校では児童下校後に90分は勤務時間が確保できるような時程にしたり、中学校では勤務時間内に部活を終了させたりするなど、市が働き方改革を積極的に進める様子が見えてきました。

岩国や柳井においては、県民会議からの出席は事務局だけでなく、岩国の教育を考える会や現場の教員からも参加していただきました。岩国や和木では給食費の無償化が進んでいますし、周防大島では小学校の入学前健診を学校で実施せずに病院等に任せるようにし、負担軽減に努めているようです。

やはり38人学級化の影響を受けた中学校も多く、一刻も早い対応を求めるところです。

5/18

【光】【田布施】【上関】【平生】

この日の訪問では、全ての教育委員会から教育長が出席しました。38人学級化を元に戻してほしいのは当然ですが、「戻したけれど教員が不足している」といったことのないように戻さないと意味がないという意見がありました。昨年度末に施策が発表された時から県教委に度々意見をしていたと言われた教育長もおられました。

保護者負担軽減については、給食費の無償化、小中高の入学時にお祝い金、医療費の無償化、高校生の通学バス補助など、各地で限られた予算の中で工夫している様子がわかりました。生理用品のトイレ設置も、この数年私たちがお願いし続けてきたこともあり、少しずつではありますがトイレ設置を導入している地域が増えてきたように思います。

今回特に印象に残ったのは、「38人学級化をはじめ、最近の県教委のいろいろな施策が『文科省のことは全て伝えたから、後はそっちの責任』のようなやり方が多くて許せない、あまりにも上意下達だ」と教育長自ら言われていたことです。これまで、教育委員会から県教委への不満を聞くことはありましたが、今回ほど強い口調で言われることはなかったので、いかに今回の措置が市町を苦しめたかがよくわかりました。もっと現場の声を聞いてほしいという気持ちの表れだと思います。県民の声だけでなく、現場や市町教育委員会からも民主的な政策を行うよう訴えていく必要性を感じました。



4つ全ての教育委員会で教育長が
出席してくださいました！

(光は代表が手交しなかったので
写真がありません…すみません)

次号で残りの市町のキャラバンの様子を紹介します！